

昨年決勝でのリベンジ果たし6年ぶり頂点へ

桜の聖母学院

県高校新人体育大会サッカー競技女子(来月3日開幕、尚志高グラウンド)に出場する桜の聖母学院が、6年ぶり
12・3開幕県高校新人体育大会サッカー女子
優勝へ闘志を燃やしている。初戦ではふたば未来学園と激突。勝ち上がった先の決勝戦では、打倒尚志を見据える。昨年の大会では決勝で敗れた強豪の壁を突破すべく、パスサッカーに磨きをかけて県の頂点を目指す。

パスサッカーに磨き

すっかり日も落ち、寒風が吹き抜けるグラウンド。時計の針が午後7時を過ぎて、桜の聖母学院イレブンのシュート練習は続く。新主将に就任したMF三浦帆那美(2年)は「まずは県で優勝することが目標。そして選手権につながる内容にしたい」と力強く意気込んだ。

悔しさを原動力に変える。先月の全日本高校女子サッカー選手権東北大会で同県の強豪・尚志が全国大会出場を決めた。一瞥、悔しがっていた。でも、近くに全国レベルのチームがあるということは、そこを倒せば自分たちも全国に行けるかもしれない」と三浦帆那美。刺激を受けつつも、強敵撃破へのイメージを膨ら



MF三浦帆那美選手

チームをけん引するMF三浦帆那美選手



理想とするのは「パスサッカー」。前チームから10人のレギュラー陣が残る、三浦帆那美は「お互いのやりたいことは分かっているから、これまでの経験は生かせると思います」。自らはポランテとして

信頼厚いGK海老名

○チームを後方から支えるのはGK海老名美侑(2年)だ。両サイドへのダイビングとロングスローが武器で6時に原選抜、中1時から2年連続で東北選抜にも選出された実力者。仲間からの信頼も厚い守護神は「尚志に勝てれば自分たちも全国レベルだ」という自信になる。対戦した



GK海老名美侑選手

打倒尚志

田村来春へ「人間力向上」目指す

21世紀枠県候補選出を表彰

◇21世紀枠東北地区推薦校◇

地区	校名	今秋県成績
青森	森田	4勝4敗
岩手	山形	4勝4敗
秋田	山形	4勝4敗
宮城	山形	4勝4敗
福島	山形	4勝4敗

※公=公立、私=私立

来春の第95回選抜高校野球大会の21世紀枠候補校に選出された田村の表彰式が29日、三春町の学校関係者が参加。ナイを代表して表彰を受け、石川主将は「自分たちは小6県から1校の推薦校が決まり、来年1月27日の選考委員会まで全国9地区のチャンスを狙っている」と意気込みを語った。田村は「冬に技術を磨くのは当然なことだが、人間として鍛えられる。地味で、最終回でも持ち味の笑顔をみせることができて、切実な思い」と力を



◇桜の聖母学院メンバー表◇

背番	位置	選手名	学年
1	GK	海老名美侑	2
2	DF	小倉璃央	2
3	DF	小倉璃央	2
4	DF	小倉璃央	2
5	DF	小倉璃央	2
6	DF	小倉璃央	2
7	DF	小倉璃央	2
8	DF	小倉璃央	2
9	DF	小倉璃央	2
10	FW	三浦帆那美	2
11	FW	菅野真莉	2
12	FW	菅野真莉	2
13	DF	渡辺美紗	1
14	DF	島田ひなた	1
15	DF	島田ひなた	1
16	MF	三浦悠夏	1

※学年の●数字は主将

掲載写真お問い合わせ先 03(6320)0644